

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
フェイシャル実習		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	57回	3単位(114時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルトリートメントの目的と効果を理解する</li> <li>・身体や皮膚の生理機能に基づいた施術ができる技術を学習する</li> <li>・マッサージテクニックを理解しマッサージが人の心と身体に与える効果を知る</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの技術と知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・日本エステティック試験センター試験合格に向けて次回の課題を理解し予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	フェイシャルエステティックとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルトリートメントの目的と効果</li> <li>・化粧品や備品、準備物を理解する</li> </ul>		
2	フェイシャル実技① 事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベットメイキング、ワゴンセッティングを学ぶ</li> <li>・お客様誘導、ターバン</li> </ul>		
3~ 8	フェイシャル実技② クレンジング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレンジング技術を学ぶ</li> <li>・ポイントメイク落とし、全体クレンジング、拭取り</li> </ul>		
9	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前準備、お客様誘導15分間</li> <li>・クレンジング20分間</li> </ul>		
10~ 11	フェイシャル実技③ ディープクレンジング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛穴ケア(吸引、超音波機器)</li> <li>・老化角質除去パック</li> </ul>		
12~ 14	フェイシャル実技④ 電気機器(イオン導入、パター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前準備、お客様誘導、クレンジングに慣れる</li> <li>・電気機器の知識とテクニックを学ぶ</li> </ul>		
15~ 16	フェイシャル実技⑤ ハンドマッサージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドマッサージ技術を学ぶ</li> </ul>		
17~ 20	エステティシャンのおもてなし講座 エステ学科合同授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の立場を理解しおもてなしを学ぶ</li> </ul>		
21~ 23	前期期末試験・学内予選対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルトリートメント技術習得</li> </ul>		
24	前期期末試験・学内予選	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルトリートメント</li> </ul>		
25~ 30	フェイシャル実技⑥ フェイシャルマッサージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッサージ(基本6手技)を理解する</li> <li>・20分間で行うマッサージテクニックを身につける</li> </ul>		
31~ 32	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分間でマッサージを行う(拭取り含む)</li> </ul>		
33~ 36	フェイシャル実技⑦ 肌別パック・マスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクの知識とテクニックを学ぶ(保湿・美白・収斂)</li> </ul>		
37~ 41	フェイシャル実技⑧ トータルプランコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様誘導、クレンジング(15分)の技術確認</li> <li>・クレンジングから整肌まで75分コースが行える力を習得</li> </ul>		

回	テ ー マ	内 容		
42~ 43	オリジナルマッサージ講座 エステ学科合同授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応用マッサージテクニックを学ぶ</li> <li>・ 肌別に対応する手技、化粧品の選択</li> </ul>		
44~ 51	後期期末試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンサルテーションについて学ぶ</li> <li>・ フェイシャルケアの工程を理解した技術習得</li> </ul>		
52	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェイシャルトリートメント</li> </ul>		
53~ 55	学生エステサロン準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン企画、準備</li> <li>・ 技術トレーニング</li> </ul>		
56~ 57	学生エステサロン運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロン運営</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新エステティック学(技術編Ⅰ)</li> <li>・ 配布プリント</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度 確認テスト	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	皮膚に直接触れる もの(アルコール 類)については使用 時乾燥かぶれ等注 意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ボディ実習		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	44回	2単位(88時間)	必須	栗尾 都
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディトリートメントの目的と効果を理解する</li> <li>・身体や皮膚の生理機能に基づいた施術ができる技術を学習する</li> <li>・マッサージテクニックを理解しマッサージが人の心と身体に与える効果を知る</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの技術と知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして9年、講師として14年(内9年は認定講師)、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師の国家資格保持者としての経験を活かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	ボディエステティックについて 事前準備・誘導・マッサージ準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディエステティックとは何かを理解する</li> <li>・マッサージの基本である身体の使い方を体得する</li> </ul>		
4~12	ボディケア実技 マッサージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全操作</li> <li>・下肢後面のマッサージを体得する</li> </ul>		
13~16	ボディケア実技 ボディ機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディ機器の使用方法を学び、安全かつ効果的に使用できるようにする</li> </ul>		
17~19	ボディケア実技 マッサージとボディ機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディ機器を適切に使用する</li> <li>・全操作</li> <li>・下肢後面のマッサージの復習</li> </ul>		
20~22	ボディケア実技 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢後面マッサージ確認テスト</li> </ul>		
23~24	ボディケア実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フットマッサージを体得する</li> </ul>		
25~30	ボディケア実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰背部のマッサージを体得する</li> </ul>		
31~36	ボディケア実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢前面・お腹・腕のマッサージを体得する</li> </ul>		
37~41	ボディケア実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身のマッサージを続けてできるようになる</li> </ul>		
42~44	ボディケア実技 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト</li> <li>・背面全体マッサージを40分で仕上げられるようになる</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学(技術編Ⅰ)</li> <li>・配布プリント</li> </ul>		期末試験 授業態度 出席率 確認テスト	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
脱毛		トータルエステティック学 科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	10回	0単位(20時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体毛の役割と美容上の不要な体毛の処理法を学ぶ</li> <li>・ワックス脱毛概論を理解し安全に施術ができる技術テクニックを学習する</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの技術と知識を習得</li> <li>・ワックス脱毛の基礎知識と技術を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ワックス脱毛概論 デモンストレーション	・体毛の役割、毛の構造、毛の発生のメカニズム、体毛の種類、体毛とホルモンを理解する		
2~ 3	体毛の正しい処理方法	・ブリーチ法、ツイーピング、シェービング、脱毛クリーム、光脱毛について学ぶ		
4~ 8	ワックス脱毛技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施術の流れ、施術の準備、注意事項を理解する</li> <li>・ワックス脱毛の基本技術を理解する</li> </ul>		
9~ 10	ワックス脱毛技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワックス脱毛(下肢両面)20分計測</li> <li>・確認テスト</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・新エステティック学(技術編Ⅰ)		確認テスト 実習・実技評価 出席率 授業態度	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル実習		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	2単位(80時間)	必須	大西 歩未
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルに関する基本的な知識と技術を学ぶ</li> <li>・ネイルケアの技術とネイルアートを学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイリスト技能検定試験3級合格</li> <li>・ネイルケアとアートに関する基本的な技術の習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等19年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
検定記述試験に向けた過去問題の答練				
回	テーマ	内容		
1~ 2	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイリスト技能検定試験について</li> <li>・ネイルの歴史、ネイル技術体系、爪の構造と働き</li> </ul>		
3~ 4	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルのための皮膚科学、生理解剖学</li> <li>・爪や皮膚の病気とトラブル</li> </ul>		
5	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒法・トリートメント理論</li> <li>・化粧品学・色彩理論</li> </ul>		
6	テーブルセッティングとネイルケア手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なテーブルセッティングとネイルケア手順</li> </ul>		
7	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロフェッショナリズム・ネイルカウンセリング</li> <li>・ネイルサロン環境・衛生基準と関連法規</li> </ul>		
8	カットスタイルの種類とファイリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カットスタイルについて</li> <li>・カットスタイル別ファイリング</li> </ul>		
9~ 10	クリーンナップとカラーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタルプッシャーとキューティクルニッパーの使い方</li> <li>・カラーリングの方法</li> </ul>		
11~ 12	ケアカラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアカラー手順の確認</li> <li>・道具の使い方を再確認</li> </ul>		
13~ 14	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アート筆の使い方</li> <li>・アートの描き方と陰影の付け方</li> </ul>		
15~ 16	前期期末実技試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期期末実技試験内容での実技</li> </ul>		
17~ 18	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期期末実技試験内容での実技確認テスト</li> </ul>		
19~ 20	前期期末実技試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期期末実技試験内容での実技試験</li> </ul>		
21~ 27	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験内容での実技</li> <li>・筆記模擬テスト</li> </ul>		
28~ 29	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験内容での実技確認テスト</li> <li>・筆記模擬テスト</li> </ul>		

回	テ ー マ	内 容		
30～ 32	検定対策	・ 検定試験内容での実技最終チェック		
33～ 36	後期期末実技試験対策	・ 後期期末実技試験内容での実技		
37～ 38	確認テスト	・ 後期期末実技試験内容での実技確認テスト		
39～ 40	後期期末実技試験	・ 後期期末実技試験内容での実技試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ JNAテクニカルシステムベーシック		期末試験 確認テスト 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	皮膚に直接触れる もの(アルコール 類)については使用 時乾燥・かぶれ等 注意。キューティ クルニッパーの取

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ジェルネイル実習		トータルエステティック学 科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	大西 歩未
授業の概要				
・ジェルネイルに関する基礎理論と技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・ジェルネイル技能検定試験初級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等19年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
検定記述試験に向けた過去問題の答練				
回	テーマ	内容		
1~ 2	ジェルネイル基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎理論</li> <li>・ジェルネイル基礎技術</li> </ul>		
3~ 4	ジェルネイル技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェルカラーリングの基礎</li> <li>・ジェルアート技術</li> </ul>		
5~ 7	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級検定試験内容での実技</li> <li>・筆記試験対策</li> </ul>		
8	ジェルネイル検定試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級筆記試験</li> </ul>		
9~ 10	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初級検定試験内容での実技</li> </ul>		
11~ 12	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技確認テスト</li> </ul>		
13~ 15	ジェルアート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェルフレンチ</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配付プリント		確認テスト 課題・レポート 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	ネイル材料については火気厳禁、保存時密栓、直射日光や高温多湿を避ける。皮膚に直接触れるもの(アル

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
メイク実習		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	阿部 友美
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンケア、メイクアップの基礎知識と基本技術を学習する</li> <li>・イメージに合わせたメイクアップ技術と知識を学習する</li> <li>・撮影メイク、作品制作について学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックサロンにおいてお客様の求めるメイクアップ技術ができる</li> <li>・UTOWAメイクアップ技術検定合格</li> <li>・エステティシャンとしての印象管理ができる</li> <li>・フォトコンテストに出品できる作品制作、メイクの応用技術を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・UTOWAメイクアップ技術検定に向けて実務内容の振り返りを行う				
回	テーマ	内容		
1	メイクアップ、メイクアップツール について、メイクアップ概論	・メイクアップツールの名称、使用方法、お手入れ方法・ 顔のプロポーション、印象、目の錯覚効果		
2~ 5	スキンケア実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンケアの基本知識</li> <li>・スキンケア実技</li> </ul>		
6~ 8	ベースメイク実習 ポイントメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベースメイク実技・ポイントメイク実技</li> <li>・ベーシックメイクトータルメイクアップ実技</li> </ul>		
9~ 12	UTOWAメイクアップ技術検定対策 確認テスト	・ナチュラルメイク実技・キュートメイク実技・クールメ イク実技		
13	UTOWAメイクアップ技術検定(前期期 末実技試験)	・授業内検定試験実施(スキンケア)		
14~ 15	UTOWAメイクアップ技術検定(前期期 末実技試験)	・授業内検定試験実施(メイクアップ)		
16	特殊メイク特別講習	・特殊メイク実習		
17~ 22	カラーメイク実習 確認テスト	・テーマカラーに合わせたフルメイクアップ実技		
23~ 24	撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーメイク作品制作</li> <li>・作品写真撮影</li> </ul>		
25~ 26	・後期期末実技試験対策	・エステ帰りのお客様へのメイク提案(テーマに沿ったト ータルメイク実技)		
27~ 28	・後期期末実技試験	・テーマに沿ったトータルメイク実技		
29~ 30	テーマに沿ったトータルメイク実技	・エステ帰りのお客様へのメイク提案(化粧品販売と次回のお 約束)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・UTOWA PROFESSIONAL		期末試験 確認テスト 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	皮膚に直接触れる もの(アルコール 等)については使用 時乾燥かぶれ等注 意 8/6(火)前期期末実



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運動トレーニング実習		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(40時間)	必須	人見 友里恵
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の魅力を体感しお客様への指導力、提案力を養う</li> <li>・ヨガを取り入れた簡単なトレーニング指導ができる力を身につける</li> <li>・美と健康の仕事に携わる上で生活に運動を取り入れる必要性を理解する</li> <li>・自身の心身ケア、健康増進</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャン資格取得後、ヨガインストラクターとして8年間の勤務経験を生かして実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・次回の授業内容を把握し予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	アンケート、体調確認 ミニレッスン45~60分	アンケートで生徒の希望を把握し、体調を確認する		
2	ヨガレッスン① ストレッチ	ストレッチと呼吸を意識したクラスを行い、固まった体をほぐす		
3	ヨガレッスン② トレーニング	HIIT・トレーニングポーズ・カパラバティ呼吸法などを取り入れ、前回より強度を上げる		
4	ヨガレッスン③ 季節のヨガ	ツイストに関わる動きを多く取り入れてデトックスを促し、主に体幹部の柔軟性の変化を体感する		
5	ヨガレッスン④ 基礎立位特化	英雄1・2・3、三角、体側伸ばしのポーズのポイント、効果、ポーズ名を把握し体感する		
6	ヨガレッスン⑤ 座位・立位をバランスよく	これまでの復習をしながら理解を深め、後の太陽礼拝に対応できる基礎を固める		
7	ヨガレッスン⑥ 太陽礼拝	太陽礼拝の動きを取り入れたフローで動き続け、集中力を高める(プリント配布)		
8	ヨガレッスン⑦ 太陽礼拝	太陽礼拝の復習をしつつ組み込むポーズの強度を上げ最後のリラクセス時間を充実させる		
9	ヨガレッスン⑧ 宿題確認とダウンドッグ	夏休みの宿題の太陽礼拝を確認する ダウンドッグのアジャストを実践し、理解を深める		
10	ヨガレッスン⑨ チャレンジポーズとアジャスト	半月のポーズのアジャストを相モデルで練習することで、ポーズへの理解と安定感を深める		
11	ヨガレッスン⑩ 確認と呼吸法	基礎ポーズの要点を確認しつつ動く 数種類の呼吸を学び練習する(プリント配布)		
12	ヨガレッスン⑪ バランスポーズ特化	太陽礼拝とバリエーションを使って体を温めた後、木、英雄3、半月のポーズ等で集中力を養う		
13	ヨガレッスン⑫ こんな時にはこんなヨガ	不調に合わせた自宅でのヨガの取り入れ方のアドバイスと実技を行い、後の提案力にもつなげる		
14	ヨガレッスン⑬ ペアヨガ	スキンシップとして楽しみながら行い、コミュニケーションとリラクセス効果を深める		

回	テーマ	内 容		
15	ヨガレッスン⑭ 季節のヨガ	ラクダやコブラのポーズで胸を開き縮こまる上半身をほぐし、HIITのセットを増やし全身を温める		
16	ヨガレッスン⑮ CPY (コアパワーヨガ)	CPYについて学び実践することで、全身の強化と集中力を養う (プリント配布)		
17	ヨガレッスン⑯ 逆転	CPYを取り入れ復習しながら、頭立ちのポーズにチャレンジし、乗り越える力とチームワークを養う		
18	ミニレッスンと運動提案練習	HIITやストレッチでほぐした後、レッスン⑪を生かし目的ごとに分け、提案とインストラクションの練習をする		
19	ミニレッスンと運動提案実践	1ポーズずつ全員インストラクション発表をし、提案力を養いポーズの理解を深める		
20	ヨガレッスン⑰ 逆転	レッスン⑮よりもアシストを減らし再チャレンジする 前回よりアライメントと呼吸を意識しクオリティを上げる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配布プリント		実習・実技評価 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	・動きやすい服装 (裸足)で水分を持 参する ・髪の長い生徒は まとめられるよう にする

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アロマセラピー		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	2単位(40時間)	必須	梶浦 幸代
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーの基礎知識を身につけ検定内容を理解する</li> <li>・心身の健康と美に役立つアロマセラピーを理解し実践する力を養う</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピー検定2級合格</li> <li>・アロマセラピー検定1級の基礎知識の習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		アロマセラピストとして20年の実務経験を生かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・アロマセラピー検定合格に向けて、授業で学んだ範囲の問題集を解く				
回	テーマ	内容		
1	アロマセラピーの基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーの定義と精油の定義</li> <li>・精油スイートオレンジ、ゼラニウム</li> </ul>		
2	精油の性質と植物の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油の作用と性質</li> <li>・精油ティートリー、フランキンセンス</li> </ul>		
3	精油の抽出方法と選び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油の抽出方法</li> <li>・精油ペパーミント、ユーカリ</li> </ul>		
4	アロマセラピーの安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油の安全な使用方法と注意事項</li> <li>・精油ラベンダー、レモン</li> </ul>		
5	アロマセラピーに役立つ素材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーに役立つ素材の種類と特性</li> <li>・精油ローズマリー、ローズオットー</li> </ul>		
6	アロマセラピーの用具と精油の滴数計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーに必要な用具と精油の滴数計算</li> <li>・精油ローズアブソリュート、イランイラン</li> </ul>		
7	アロマセラピーの利用法①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芳香浴法・アロマスプレーの利用法</li> <li>・精油クラリセージ、グレープフルーツ</li> </ul>		
8	アロマセラピーの利用法②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沐浴法・吸入法</li> <li>・精油ジュニパーベリー、スイートマージョラム</li> </ul>		
9	アロマセラピーの利用法③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャルスチーム・湿布法</li> <li>・精油ベルガモット、レモングラス</li> </ul>		
10	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期期末試験</li> <li>・アロマセラピー過去問答練</li> </ul>		
11	アロマセラピーの利用法④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリートメント法・セルフトリートメント</li> <li>・精油ローマンカモミール、ジャーマンカモミール</li> </ul>		
12	アロマセラピーのスキンケア①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキンローション・クリームの作り方</li> <li>・精油サンダルウッド、サイプレス</li> </ul>		
13	アロマセラピーのスキンケア②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレイパックの作り方・日常のアロマケア</li> <li>・精油ブラックペッパー</li> </ul>		
14	アロマセラピーのメカニズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油が心身に伝わる仕組み</li> <li>・精油メリッサ・ミルラ</li> </ul>		

回	テーマ	内容		
15	アロマセラピーとビューティ&ヘルスケア①②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠とアロマセラピーの関わり、女性ホルモン</li> <li>・精油ベンゾインレジノイド、ペチバー</li> </ul>		
16	アロマセラピーの歴史①②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代～中世の歴史と香りの関わり</li> <li>・精油パチュリ、ジャスミン</li> </ul>		
17	アロマセラピーの歴史③ アロマセラピーの誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世から近代の歴史とアロマセラピーの誕生</li> <li>・精油ネロリ</li> </ul>		
18	アロマセラピーに関する法律①②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピー関連法規</li> </ul>		
19	アロマセラピー検定試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピー過去問練習</li> </ul>		
20	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期期末試験</li> <li>・アロマセラピー過去問答練</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピー検定公式テキスト</li> <li>・アロマセラピー検定公式問題集</li> <li>・配布プリント</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度 課題・レポート	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
カウンセリング		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	2単位(40時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理的カウンセリングの手法とコンサルティングのアドバイスの要素を含めた知識を学習する</li> <li>・カウンセラーとしての役割を育み顧客満足度の高い施術に活用する</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・日本エステティック試験センター試験合格に向けて次回の授業内容を把握し予習を行う				
回	テーマ	内容		
1~ 2	エステティックカウンセラーの役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングとコンサルティングを理解する</li> <li>・エステティックサロンに求められるもの</li> </ul>		
3~ 4	心のメカニズムと顧客心理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴き上手、話し上手について理解する</li> </ul>		
5	カウンセリングの流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付での対応、ビフォーカウンセリング、施術中のカウンセリング、アフターカウンセリング、退店での対応</li> </ul>		
6~ 8	カウンセリング手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン内の環境、コンサルテーションシートについて</li> <li>・肌性及びトラブルに対する判断、体型と体質の判断</li> </ul>		
9	エステティックカウンセリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト</li> </ul>		
10	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリングまとめ</li> <li>・前期期末試験</li> </ul>		
11~ 14	カウンセリング手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルテーションシートについて理解する</li> <li>・肌性及びトラブルに対する判断、体型と体質の判断</li> </ul>		
15~ 16	コンサルテーション作成 フェイシャル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肌分析について理解する</li> <li>・肌性及びトラブルに対する判断、体型と体質の判断</li> </ul>		
17~ 18	コンサルテーション作成 ボディ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体分析について理解する</li> <li>・肌性及びトラブルに対する判断、体型と体質の判断</li> </ul>		
19	コンサルテーション作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト</li> </ul>		
20	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンセリング総まとめ</li> <li>・後期期末試験</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学(理論編Ⅱ)</li> <li>・エステティシャンセンター試験筆記試験 例題集</li> <li>・コンサルテーションシート</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度 確認テスト	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネスマナー		トータルエステティック学 科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	7回	0単位(14時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学ぶ</li> <li>・ 実務実習、就職活動に向けての事前準備</li> <li>・ エステティシャンとしての身だしなみや作法を学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人としてのマナー習得</li> <li>・ 専門知識、一般知識、対人技能、実務技能の習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・ 次回の授業内容を踏まえて内容に沿って予習を行う				
回	テーマ	内容		
1~ 2	就職基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職活動の世界を知る</li> <li>・ プレゼンとディスカッションの基本と応用</li> </ul>		
3~ 4	就職基礎教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業研究</li> <li>・ 自己分析(自己PR、志望動機)、履歴書作成</li> </ul>		
5	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面接開始までの流れを確認</li> <li>・ 面接でよくある質問の回答例</li> </ul>		
6	就職研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話対応、訪問時のロールプレイング</li> <li>・ 模擬グループ面接</li> </ul>		
7	面接対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面接等のロールプレイング</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職の手引き</li> <li>・ 配布プリント</li> </ul>		実習・実技評価 課題・レポート 出席率 授業態度	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論		トータルエステティック学 科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	14回	2単位(28時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャル技術の基本的な流れを理解し健康的な美肌を作り出す施術ができる力を養う</li> <li>・全身トリートメントを行う上で必要な知識とポイントについて理解する</li> <li>・ワックス脱毛に関する基本的な毛髪理論と技術に関する基本的な知識を学習する</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの技術と知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・日本エステティック試験センター試験合格に向けて次回の授業内容を把握し予習を行う				
回	テーマ	内容		
1~4	フェイシャルエステティックについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャル全工程の目的と効果を理解する</li> <li>・注意事項、禁忌事項を理解する</li> </ul>		
5~8	ボディエステティックについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディ全工程の目的と効果を理解する</li> <li>・注意事項、禁忌事項を理解する</li> </ul>		
9~10	ワックス脱毛について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱毛の目的と効果を理解する</li> <li>・注意事項、禁忌事項を理解する</li> </ul>		
11~12	センター試験(筆記)対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例題、解答</li> </ul>		
13	センター試験(筆記)対策 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問答練</li> </ul>		
14	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期期末試験対策</li> <li>・前期期末試験</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学全巻</li> <li>・エステティシャンセンター試験筆記試験 例題集</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度 確認テスト	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容機器コスメ学		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	2単位(40時間)	必須	栗尾 都
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>化粧品の基本知識を習得し、肌タイプ別に使い分けができるようになる</li> <li>エステティック機器の原理を学習し、安全に効果的に使用できるようになる</li> <li>化粧品と機器を組み合わせ学習し、実践で使える知識を身につける</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本化粧品検定3級合格</li> <li>日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして9年、講師として14年(内9年は認定講師)、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師の国家資格保持者としての経験を活かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	化粧品学	・化粧品概論		
3	化粧品学	・フェイシャル化粧品について学習する		
4	化粧品学	・ボディ化粧品について学習する		
5	化粧品学	・メイクアップ化粧品について学習する		
6	化粧品学	・ネイル化粧品/ヘアケア化粧品/フレグランスについて学習する		
7~8	エステティック機器学	・エステティック機器の種類と原理について学習する(フェイシャル機器)		
9	前期期末試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期学習内容の復習</li> <li>センター試験問題への取り組み</li> </ul>		
10	前期期末試験	・前期期末試験		
11	エステティック機器学	・エステティック機器の種類と原理について学習する(ボディ器)		
12~14	化粧品学	・化粧品の原料について学習する		
15~17	エステティック機器学	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気の理論を学習する</li> <li>センター試験対策</li> </ul>		
18	化粧品検定対策と受験	・化粧品検定3級を受験する		
19	後期期末試験対策	・後期学習内容の復習		
20	後期期末試験	・後期期末試験		



回	テーマ	内容		
		評価基準	評価率	その他
	教科書・教材			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学理論編Ⅱ</li> <li>・配布プリント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期末試験</li> <li>出席率</li> <li>授業態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>80.0%</li> <li>10.0%</li> <li>10.0%</li> </ul>	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロン経営学		トータルエステティック学 科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	7回	1単位(14時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン開店から経営方針について基本的な考え方や具体的手段について学ぶ</li> <li>・サロン経営の目標意識を学ぶ</li> <li>・接客マナーの基本知識から実践応用を養う</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> <li>・サロンワークでの「ホスピタリティマインド」を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	サロン開設のシュミレーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンコンセプトの具体化</li> <li>・経営理念とビジョンについて</li> </ul>		
2	サロン運営と管理 サロン繁栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資産管理について、マネジメントの役割</li> <li>・繁栄サロンの条件について、経営者としての心構え</li> </ul>		
3	接客マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客の基本を身につける</li> <li>・お客様の信頼を得るための接客</li> </ul>		
4	電話対応・お客様への心遣い クレーム処理・職場での人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話対応の心得、ホスピタリティマインド</li> <li>・トラブルの原因とクレーム対応の基本</li> </ul>		
5	作品制作 「自分のエステサロンを開業」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想とするサロンを創造し作品を作成</li> </ul>		
6	プレゼンテーション実施 「自分のエステサロンを開業」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良いプレゼンテーションを学ぶ</li> <li>・聞く能力「傾聴力」を磨く</li> </ul>		
7	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験範囲復習</li> <li>・後期期末試験実施</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学(理論編Ⅲ)</li> <li>・エステティシャンセンター試験筆記試験 例題集</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度 課題・レポート	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック学		トータルエステティック学 科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	南 敦子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックに関する基礎的な知識を養う</li> <li>・エステティックの全体像を理解しエステティシャンとしての社会的な役割と使命感、心構えを学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
次回授業内容について、教科書・資料をもとに予習しておく				
回	テーマ	内容		
1	エステティック概論	・エステティックとは何かを理解する		
2	エステティック概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティックの本質と領域を理解する</li> <li>・ソワンエステティックの目的と効果を理解する</li> </ul>		
3	エステティック概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エステティシャンの心構え</li> <li>・日本と世界のエステティックを知る</li> </ul>		
4	関連法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「法」の基礎知識を復習する</li> <li>・消費者保護について知る</li> </ul>		
5	関連法規	・エステティックにかかわりの深い衛生法規		
6	関連法規	・経済行為に関する法律を理解する		
7	関連法規	・エステティック業界の統一自主基準について理解する		
8	救急法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急法の基本を理解する</li> <li>・エステティシャンにかかわる救急法を理解する</li> </ul>		
9	救急法	・エステティシャンが行う「応急手当」を理解する		
10	救急法	・エステティシャンが行う「一時救命処置」を理解する		
11~ 13	センター試験対策	センター試験対策		
14	前期末試験対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の授業内容を復習し、理解を深める</li> <li>・確認テスト</li> </ul>		
15	前期末試験	前期末試験実施		

回	テ　　マ	内　　　　容		
		教科書・教材	評価基準	評価率
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学（理論編Ⅲ）</li> <li>・エステティシャンセンター試験筆記試験 例題集</li> </ul>	出席率 確認テスト 期末試験	10.0% 20.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
皮膚科学		トータルエステティック学 科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	19回	2単位(38時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の働きと基礎知識を理解する</li> <li>・お客様の肌状態に応じたホームケアアドバイスができる皮膚の基礎知識を学習する</li> <li>・日本化粧品検定2級の範囲に含まれる皮膚科学知識を学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・日本エステティック試験センター試験合格に向けて次回の授業内容を把握し予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	皮膚の基本知識 (生体における皮膚の役割)	・4つの役割を理解する		
2	皮膚の基本知識 (皮膚の構造と働き)	・皮膚表面の基本的な構造と働き、表皮、表皮付属器官、真皮、皮下組織の基本的な構造と働きを理解する		
3	美容上大切な皮膚の6つの働き (皮脂膜、角質層バリア)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮脂膜の役割を理解する</li> <li>・角質層バリアの働きを理解する</li> </ul>		
4	美容上大切な皮膚の6つの働き (ターンオーバー、毛細血管の働き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表皮ターンオーバーとそのリズムの変化を理解する</li> <li>・毛細血管の役割を理解する</li> </ul>		
5	美容上大切な皮膚の6つの働き (メラノサイトの働き)	・紫外線刺激とメラニン生成のプロセスを理解する		
6	美容上大切な皮膚の6つの働き (線維芽細胞、皮膚の働き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線維芽細胞の働きを理解する</li> <li>・皮膚の働きの相互関連を理解する</li> </ul>		
7	肌の美しさを損ねる要因 (紫外線、寒気、乾燥)	・それぞれの要因と肌への影響を理解する		
8	肌の美しさを損ねる要因 (加齢、女性のリズム)	・それぞれの要因と肌への影響を理解する		
9	肌の美しさを損ねる要因 (ストレス、胃腸の不調、生活習慣)	・それぞれの要因と肌への影響を理解する		
10	確認テスト	・まとめ		
11	さまざまな肌状態 (肌意識の年代変化、美しい肌)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美しい肌像と肌悩みは鏡面関係にあることを理解する</li> <li>・4つの肌タイプの分類を理解する</li> </ul>		
12	さまざまな肌状態 (衰えた肌)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衰えた肌の状態、要因、ケアのポイントを押さえる</li> <li>・年代別の肌状態について理解を深める</li> </ul>		
13	さまざまな肌状態 (色素沈着を起こした肌)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な美白ケアのポイントを押さえる</li> <li>・日焼け後の効果的なケアを理解させる</li> </ul>		
14	さまざまな肌状態 (ニキビ、肌荒れと敏感)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニキビの4つの状態を理解する</li> <li>・アトピー性皮膚炎について理解する</li> </ul>		

回	テ ー マ	内 容		
15	確認テスト	・まとめ		
16	肌と環境・肌分析	・肌と地域気候の関係、季節を後追いする現象を理解する		
17	肌と環境・肌分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肌分析を行う上で考慮すべきポイントを理解する</li> <li>・肌タイプの分類を理解する</li> </ul>		
18	確認テスト	・皮膚科学総まとめ		
19	前期期末試験	・前期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学(理論編 I)</li> <li>・エステティシャンセンター試験筆記試験</li> <li>例題集</li> <li>・配布プリント</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>期末試験</li> <li>出席率</li> <li>授業態度</li> <li>確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>70.0%</li> <li>10.0%</li> <li>10.0%</li> <li>10.0%</li> </ul>	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
大脳解剖生理学		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	31回	4単位(62時間)	必須	栗尾 都

授業の概要

- ・ エステティック施術を正しく行うために、人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する
- ・ 生命活動の基本原理のホメオスタシスを理解し、その調節が臓器のバランスを調整していることを学習する

授業終了時の到達目標

- ・ 日本エステティック試験センター試験合格
- ・ 日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得

実務経験有無

実務経験内容

有

エステティシャンとして9年、講師として14年(内9年は認定講師)、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師の国家資格保持者としての経験を活かし、実務に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	生命誕生と適応進化の歴史	・ 生命の特徴と適応進化とエステティックの関係を理解する
2	ホメオスタシスについて	・ ホメオスタシスの定義と仕組みを理解する
3	ホメオスタシスを制御するしくみ	・ ホメオスタシスを制御する脳と3つの配線を理解する
4	免疫のしくみ	・ 免疫の種類とアレルギーの型と症状を理解する
5	ストレスについて	・ ストレスの定義とストレス学説を理解する
6	生体のストレス反応と脳の機能	・ ストレスと「美」「健康」「生活」への影響を理解する
7	生体の持つ3つの時間軸	・ 生体反応の時間構造とエステティックの可能性を理解する
8	身体の基本	・ 身体の構成と仕組みを理解する
9	身体的设计図	・ 遺伝子の構造と身体構成物質を理解する
10	血液について	・ 血液の成分と働きを理解する
11	骨格系①	・ 体区分と骨の構造と代謝を理解する
12	骨格系②	・ 骨格の構成と関節について理解する
13	筋系①	・ 筋肉の種類と役割を理解する
14	筋系②	・ 骨格筋の種類と作用・性質を理解する

回	テ ー マ	内 容		
15	神経系①	・ 神経伝達の仕組みと神経系のあらましを理解する		
16	神経系②	・ 中枢神経系の構成と脳の構造を理解する		
17	神経系③	・ 末梢神経系と自律神経の仕組みを理解する		
18	前期期末試験	・ 前期期末試験 ・ センター試験過去問答練		
19	感覚①	・ 感覚の分類と体性感覚 ・ 内臓感覚を理解する		
20	感覚②	・ 特殊感覚について理解する		
21	内分泌系①	・ 内分泌系の役目とホルモン調節について理解する		
22	内分泌系②	・ 各内分泌線とホルモンの働きを理解する		
23	呼吸器系	・ 呼吸器の構造と呼吸の仕組みを理解する		
24	センター試験対策	・ センター試験過去問答練		
25	循環器系①	・ 心臓の仕組みと血液循環を理解する		
26	循環器系②	・ リンパ系の仕組みを理解する		
27	消化器系①	・ 消化器系の臓器について理解する		
28	消化器系②	・ 消化吸収の仕組みと消化酵素について理解する		
29	泌尿器系	・ 泌尿器系の仕組みと働きを理解する		
30	生殖器系	・ 月経周期とホルモンの関係を理解する		
31	後期期末試験	・ 後期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新エステティック学(理論編Ⅰ)</li> <li>・ エステティシャンセンター試験筆記試験</li> <li>例題集</li> <li>・ 配布プリント</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
栄養学		トータルエステティック学 科/1年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	3単位(40時間)	必須	栗尾 都
授業の概要				
・栄養学の基礎知識を理解し、エステティシャンとして健康維持と増進を図る力を養う				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして9年、講師として14年(内9年は認定講師)、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師の国家資格保持者としての経験を活かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・日本エステティックセンター試験合格に向けて次回の課題を理解し予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	タンパク質・アミノ酸	・タンパク質の働きとアミノ酸の種類を理解する		
2	脂質	・脂質の種類と働きを理解する		
3	炭水化物	・炭水化物の種類と代謝を理解する		
4	無機質(ミネラル)①	・主要無機質の種類と特徴を理解する		
5	無機質(ミネラル)②	・微量元素の種類と特徴を理解する		
6	ビタミン①	・脂溶性ビタミンの種類と特徴を理解する		
7	ビタミン② センター試験対策①	・水溶性ビタミンの種類と特徴を理解する		
8	栄養価 栄養所要量	・基礎代謝量と身体活動レベルの関係を理解する		
9	食物摂取と消化吸収	・五大栄養素の消化吸収の仕組みを理解する		
10	前期期末試験	・前期期末試験		
11	食品の分類	・栄養学からみた食品の分類を理解する		
12	各食品の栄養学的特徴	・各食品に含まれるな栄養素の特徴を理解する		
13	健康と栄養 センター試験対策②	・栄養状態の判定と肥満について理解する		
14	生活習慣病と中・老年期の栄養	・生活習慣病と栄養の関係を理解する		

回	テ ー マ	内 容		
15	美容と栄養	・ ボディライン作りや美肌作り、栄養の関係を理解する		
16	サプリメント	・ 医薬品と食品の区別、サプリメントの位置を理解する		
17	食品添加物 センター試験対策③	・ 食品添加物とその働きを理解する		
18	抗酸化物質と機能性成分	・ 今注目の抗酸化物質や機能性成分を理解する		
19	栄養学総復習	・ 栄養学の知識を総復習する		
20	後期期末試験	・ 後期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新エステティック学(理論編Ⅱ)</li> <li>・ エステシアンセンター試験筆記試験 例題集</li> <li>・ 配布プリント</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運動生理学		トータルエステティック学 科/1年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	10回	1単位(20時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に関する生理学を理解し適切な運動知識を身に付ける</li> <li>・お客様へのアドバイスを適切に行うことができるよう実際の方法と伝え方を学ぶ</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本エステティック試験センター試験合格</li> <li>・日本エステティック協会AJESTHE認定上級エステティシャン試験合格レベルの知識を習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	運動生理学とは	・運動の必要性と主な効果、運動に必要な筋肉の役割、作用について理解する		
2	運動生理学とは	・運動による呼吸、血液、血流の変化を学ぶ		
3	運動と代謝	・運動によるエネルギー代謝と筋疲労との関係や、糖・脂質・タンパク質の代謝による身体の変化を理解する		
4	運動と代謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋肉量と基礎代謝の関係を理解する</li> <li>・消費カロリーについて基本的な考え方を知る</li> </ul>		
5	運動とアンチエイジング	・加齢による機能低下のメカニズムを知るため、筋肉、心臓、骨格などの老化について理解する		
6	運動とアンチエイジング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタボリックシンドロームとは何かを理解する</li> <li>・ストレスとエイジングの関連を理解し必要な対応を学ぶ</li> </ul>		
7	姿勢・ポジショニング	・重力と姿勢、姿勢維持に関わる主な筋肉について理解する		
8	姿勢・ポジショニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の要となる骨盤、股関節の役割や可動域を理解する</li> <li>・座位、立位の正常を学び体感する</li> </ul>		
9	運動プログラムと実際の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の種類、適切な強度、時間を学ぶ</li> <li>・目的に適した運動と提案法を学ぶ</li> </ul>		
10	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト</li> <li>・後期期末試験</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新エステティック学(理論編Ⅱ)</li> <li>・エステティシャンセンター試験筆記試験例題集</li> </ul>		期末試験 出席率 授業態度 確認テスト	70.0% 10.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンワーク実習		トータルエステティック学 科/1年	2024/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	10回	1単位(20時間)	必須	今岡 智子
授業の概要				
・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・就職時に即戦力になれるようプロの接客技術を習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして7年、認定講師として20年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・サロンワークに必要な技術を理解するために習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~ 10	サロンワーク実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体、各サロン別ミーティング・接客、技術チェック</li> <li>・サロン実務・レポート作成</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配布プリント		<ul style="list-style-type: none"> <li>課題・レポート</li> <li>出席率</li> <li>授業態度</li> </ul>	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座		トータルエステティック学 科/1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	神内 朋子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人になるための人格形成と、就職活動に必要な知識を学ぶ</li> <li>・サロンが求める社会性とコミュニケーション能力を養う</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス接客検定3級合格</li> <li>・社会人としてのマナー習得</li> <li>・専門知識、一般知識の取得</li> <li>・対人技能、実務技能の取得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		コスチュームアドバイザー、ブライダルプランナーとしての経験あり		
時間外に必要な学修				
前回の授業の復習を行っておくこと				
回	テーマ	内容		
1	サービス接客検定について サービススタッフの資質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験概要</li> <li>・必要とされる要件・従業要件</li> </ul>		
2				
3	専門知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス知識</li> <li>・従業知識</li> </ul>		
4				
5	一般知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会常識</li> <li>・ことわざ、慣用句</li> </ul>		
6	復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質、専門知識、一般知識の復習</li> </ul>		
7	対人技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係</li> <li>・接客知識</li> </ul>		
8~ 9	対人技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方</li> <li>・服装</li> </ul>		
10	実務技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題処理</li> <li>・環境整備</li> </ul>		
11~ 12	実務技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金品管理</li> <li>・社交業務</li> </ul>		
13~ 15	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問題</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス接客検定3級受験ガイド</li> <li>・過去問題プリント</li> <li>・配布プリント</li> </ul>		確認テスト 課題・レポート 出席率	80.0% 10.0% 10.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実務実習		トータルエステティック学 科/1年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	6回	0単位(12時間)	必須	
授業の概要				
・美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践し学習する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場を知り、仕事を知り、働く人間を理解した上で自らの将来を展望する</li> <li>・職業人として、「働く意味」「やりがい」「規律」「チームワーク」「マナー」を習得する</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 6	職場体験	・接客、清掃等さまざまなサロン内業務を通して職場を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・就職の手引き		実習・実技評価	100.0%	